

全日本個人総合・NHK杯 体操男子出場関連資料

競技会名 項目	第 80 回全日本体操個人総合選手権 (以下、全日本個人)	第 65 回 NHK 杯 (以下、N 杯)
開催期間	2026 年 4 月 17 日～19 日	2026 年 5 月 15～17 日
開催場所	高崎アリーナ	東京体育館
出場資格 及び人数	<p><全日本個人予選出場資格></p> <p>[1] 個人総合 72 名</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第 58 回全日本シニア体操競技選手権大会上位 15 名 2. 第 79 回全日本学生体操競技選手権大会上位 15 名 3. 上記 1、2 を除く全日本シニア選手権、全日本学生選手権 1 部・2 部上位 16 名 4. 男子ジュニアナショナル強化部推薦 10 名 5. 協会推薦 6 名 <p>※ 協会推薦枠が定数に満たない場合は、上記 3 から定数まで順位順に追加する</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. 第 80 回全日本個人総合トライアウト選考上位 10 名 <p>※ 個人総合トライアウト選考実施後、上記 1～5 までの選手総数に欠員が生じた場合は、個人トライアウト選考 11 位以下の選手から定数まで順位順に追加する</p> <p>[2] 種目別選手枠各種目 6 名</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 映像審査各種目上位 6 名 <p><全日本個人決勝出場資格></p> <p>[1] 個人総合 30 名</p> <p style="padding-left: 20px;">全日本個人予選上位 30 名</p> <p>※ 個人総合内規加点を含めた順位順とする</p> <p>※ リザーブは 2 名とする</p> <p>[2] 種目別選手枠各種目 6 名</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個人総合決勝出場者を除く全日本個人予選各種目上位 6 名 <p>※ 跳馬に関しては 1 本の得点で上位 6 名を選出する。ただし、2 本行う選手は高い方の得点を決勝進出得点として採用する</p> <p>※ 選考用団体得点算出には 1 本目の得点を採用する</p>	<p><N 杯出場資格></p> <p>[1] 個人総合 30 名</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全日本個人決勝上位 30 名を対象とする <p>[2] 種目別選手枠 各種目 6 名</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個人総合出場者 30 名を除いて、全日本個人予選における各種目上位 6 名を対象とする
跳馬跳越数	<ol style="list-style-type: none"> 1) 世界選手権代表選考及びアジア競技大会代表選考の個人総合得点及び選考用団体得点（各種目ベスト 3 の合計得点）を算出する際は 1 本目の得点を採用する 2) 世界選手権代表選考及びアジア競技大会代表選考の日本体操協会作成種目別世界ランキング 3 位以内に該当する得点は 2 本の平均得点を採用する 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 世界選手権代表選考及びアジア競技大会代表選考の個人総合得点及び選考用団体得点（各種目ベスト 3 の合計得点）を算出する際は 1 本目の得点を採用する 2) 世界選手権代表選考及びアジア競技大会代表選考の日本体操協会作成の種目別世界ランキング 3 位以内に該当する得点は 2 本の平均得点を採用する
オーダーと 班編成	<p><全日本個人予選></p> <p>[1] 班編成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 1 班は個人総合 36 名＋種目別選手枠各種目 6 名 2. 2 班は個人総合 36 名 <p>[2] 2 班シード選手</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ナショナル強化選手のうち対象者 2 名 2. U18 ナショナル強化選手のうち対象者 4 名 	<p><N 杯></p> <p>[1] 個人総合</p> <p style="padding-left: 20px;">全日本個人順位順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各組 6 名の 6 組編成（6 組目は種目別選手枠） ・全日本個人の上位 6 名がゆかに配置、7 位以降が順次種目ローテーション順に割当てられる

	<p>3. 上記 1、2 を含め全日本シニア選手権と全日本学生選手権 1 部・2 部の得点上位者から順に選出された 36 名</p> <p>※ 上記 1、2 の対象者は別紙 1 参照とする</p> <p>※ 各班の開始種目は抽選とする</p> <p><全日本個人決勝></p> <p>[1] 個人総合 30 名 全日本個人予選順位順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各組 6 名の 6 組編成 (6 組目は種目別選手枠) ・予選の上位 6 名がゆかに配置、7 位以降が順次種目ローテーション順に割当てられる ・組内の個人総合順 5 番目の選手が 1 番演技、その後順位を繰り上げていき、最後に 6 番目の選手とする <p>(例：1 組 5 位、4 位、3 位、2 位、1 位、6 位)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2 種目目以降は、順次繰り上げていく <p>[2] 種目別選手枠各種目 6 名 各種目予選成績下位の選手から演技を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・組内の個人総合順 5 番目の選手が 1 番演技、その後順位を繰り上げていき、最後に 6 番目の選手とする <p>(例：1 組 5 位、4 位、3 位、2 位、1 位、6 位)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2 種目目以降は、順次繰り上げていく <p>[2] 種目別選手枠 各種目予選成績下位の選手から演技を行う</p>
<p>タイブ레이크</p>	<p>1) 個人総合 (予選)</p> <p>① FIG 競技規則 (最新版) に則りタイブ레이크を行うどの順位においても同点の場合、FIG 競技規則 (最新版) を適用する</p> <p>2) 個人総合 (決勝)</p> <p>① 決勝の得点が高い選手を上位とする</p> <p>② 決勝の得点を対象とし、FIG 競技規則 (最新版) に則りタイブ레이크を行う</p> <p>3) 種目別選手枠 (予選から決勝)</p> <p>どの順位においても同点の場合、以下の手順で予選順位を決定する</p> <p>① D スコアの高い選手を上位とする</p> <p>② E スコアの高い選手を上位とする</p> <p>③ 最終 E スコアに関与した 3 つの E スコアにおいて、高い 2 つの E スコアの平均が高い選手を上位とする</p> <p>④ 最終 E スコアに関与した 3 つの E スコアにおいて、最も高い E スコアを有する選手を上位とする</p> <p>※ 上記で差がつかない場合は強化本部長の提案により選手選考委員会にて決定する</p>	<p>1) N 杯 1 日目</p> <p>① N 杯 1 日目の得点が高い選手を上位とする</p> <p>② N 杯 1 日目の得点を対象とし、FIG 競技規則 (最新版) に則りタイブ레이크を行う</p> <p>2) 日本代表決定の際の個人総合順位について 全日本個人予選と決勝の合計+N 杯 2 日間の合計得点と同じ場合、以下の手順で順位を決定する</p> <p>① N 杯 2 日間の合計得点が高い選手を上位とする</p> <p>② N 杯 2 日目の合計得点が高い選手を上位とする</p> <p>③ N 杯 2 日目の得点を対象とし FIG 競技規則 (最新版) に則りタイブ레이크を行う</p>
<p>個人総合 大会順位</p>	<p>全日本個人予選+決勝</p>	<p>全日本個人予選と決勝の合計+N 杯 2 日間の合計</p>